



第1期

「いがこの家 上野忍」 サポーター養成講座

日本では、およそ9人に1人が貧困家庭で育っているという状況があります。食事、教育、生活必需品、社会的体験など、多くの子どもには当たり前にあるべき環境が得られない子どもたちがいます。

このような社会状況の中で、

『**全ての子どもが食事や学習の機会、生活必需品、愛情など育つために当たり前に必要な環境**』が得られる**社会の実現**に向けて、『食事』『学習』『生活必需品』『愛情』『社会性』『生活習慣』『居場所』『体験』などを得られる、子どもの居場所の担い手を養成します。



● 日時・場所	● 内容	● 講師（敬称略）
令和6年 7月8日（月） 13:30～15:30	【オリエンテーション】 ○伊賀市内の子どもを取り巻く現状 ～子どもの教育現場から～ ○子どもの現状と社会課題の解決に向けて 【ワークショップ】 ○自己紹介・参加動機・感想など	伊賀市社協 伊賀市教育委員会事務局 学校教育課 指導主事 村田 憲彦氏 生徒指導課 スクールソーシャルワーカー 福島 伸江氏 伊賀市社協 子どもの貧困プロジェクトチーム
7月24日（水） 13:30～15:30	【講義】 「子どもの権利とアドボカシーについて」	子どもアドボカシーセンターMIE 事務局長 志治 優美氏
7月30日（火） 13:30～15:30	【市内の活動事例紹介】（例） ・久米ひだまりキッチン（地域食堂・学習支援） ・つばめカフェ（地域食堂） ・寺子屋 大仙寺 【ワークショップ】 ○（仮題）自分の持ち味やできることを考えよう	コーディネーター 伊賀市社協 子どもの貧困プロジェクトチーム
8月26日（月） 13:30～15:30	【講義】先進事例 「包摂的地域交流拠点「ICS 垢田家」の取組から～現代のこどもを取り巻く現状と課題、そのための取組み～」 【サポーター登録ガイダンス】	NPO法人皆繫（みなつなぎ） 代表理事 林 陽一郎氏 伊賀市社協
随時	【子どもの居場所支援の体験・見学】 （地域食堂・学習支援ほか）	

- 会場／伊賀市総合福祉会館 2階会議室（平野山之下380-5） ● 定員／50名 ● 参加費／無料
- 対象者／伊賀市在住で、子どもの居場所でボランティア活動してみたいとお考えの方
- 申込方法／令和6年6月28日（金）までに、申込フォーム・FAX・電話等で申込み
- この講座は市民ふくし大学の専門講座として開催し、修了者に修了証書を交付する。

▼申込専用フォーム



申込・問い合わせ先 ▶ 伊賀市社会福祉協議会 企画調整課 ☎33-0064 / FAX21-8123

Q. 居場所でどんなことをするの？

家庭の複合的な課題にも寄り添い、子ども一人ひとりの個性や状況に応じた学習支援や生活支援を行います。居場所を通じて子どもの自己肯定感を高め、健全な生活習慣と社会性を身に付けたり、自分の力で生きる自信の涵養と豊かな成長をサポートします。

Q. 居場所の運営は？

伊賀市社協が伊賀市とB&G財団と連携して運営します。当面は週3回程度、近隣の小学生が生活習慣や学習習慣を身につけられる居場所として開設します。

将来的には、市内に子どもの居場所がたくさん広がっていくよう、地域活動を支援します。

